

中野文貴 議員
平野愛歩 議員
高梁東中

備

中高梁駅のバリアフリー化、高梁中央図書館や市役所新庁舎などができる市にどんな利益があるのでしょうか。体の不自由な人や高齢者でも利用しやすくなり、良いことだと思いますが、金銭面や市民の意見は大丈夫でしょうか。この整備で高梁市がもっと活気があり、生活しやすい町になってくれたらいいと思います。



現

現在の備中高梁駅は、電車とホームに段差があり、足が痛い人や荷物を持った人が乗るのに非常に不便だと思います。高齢化率が高くなってきているため、バリアフリー化することになりました。併せて、市の玄関口である駅を整備をすることにしました。駅前を迎えの車が渋滞しているの、ロータリーを駅の西と東に造り、自乗車の混雑を緩和します。

田村 悠夏 議員
平松 恵梨奈 議員
有漢中

市

市内にはスポーツ施設がたくさんあります。市外にアピールすれば、多くの人が訪れ、魅力を知ってもらえるきっかけになると思います。また、お互いの交流もでき、地域の活性化につながるのではないでしょうか。



平

成24年度のスポーツ施設全体の利用者数は、延べ約23万人です。このうち約19万人が高梁市の人で市外の人が約4万人の利用です。施設のPRの具体的な取り組みは、市のホームページなどに掲載し、各施設の空き情報などをお知らせしています。特に土・日曜日に非常に多く利用されていますので、なかなか使えないという状況もあります。施設の情報は口コミでも広がっています。有漢のグラウンドゴルフ場は、県内で一番いい施設ですから、多くの人が利用しています。

高梁市のスポーツと文化、観光

バスセンターの場所には、駅を利用する人が気軽に立ち寄れる、図書館機能を持った複合施設を建設しようと思っています。人がたくさん集まる場所ですから、まず安全を確保しながら、皆さんが利用できるような施設にしたいと思っています。

市役所については、震度5弱で倒壊の恐れがあるため、耐震を施した市役所に建て替える時期であると判断しました。エレベーターなどを備えた、誰でも利用しやすい庁舎にしようと考えています。こういう施設を造ることで、市民の皆さんが便利になり、高梁市に住もうと思ってもらえることが大事だと思います。

建設費は、国の補助金と地方債という借金で賄うことにしています。この地方債は、借りた額の7割を国が補ってしてくれるので、市民の皆さんの負担は3割くらいになります。駅周辺の整備ができて、みんなが住みやすい町になってくれたらという感想でした。私も同じ考えで、さまざま



考えて、さまざま

の交流人口を現在の約60万人から、100万人にするという目標を掲げています。ヒルクライムチャレンジシリーズの開催、女子バレーボール岡山シーガルズの合宿と中学生やママさんへの指導などで市内の人と市外の人との交流を深めています。女子サッカー・なでしこリーグで頑張っているFC吉備国際大学シャルムが高梁を全国に発信してくれています。シャルムの効果も期待したいと思っています。

市内には、4つの野球場があります。京阪神の人にとっては、恵まれた環境です。こういう地の利のものも利用しながら、スポーツ合宿、スポーツ交流といったものをこれからもどんどん誘致していきたいと思っています。スポーツだけでなく、観光や文化芸術の交流、例えば吹奏楽部やダンス部の合宿など、さまざまな交流を通じて、市民の皆さんに接してもらおう機会をつくっていききたいと思っています。



質問に答える近藤市長

まな事業に取り組んでいます。皆さんが便利になる町づくりのために懸命に努力をします。

大林 傑 議員
倉本 憲治 議員
高梁北中

全

「将来高梁市に住みたいか」の質問に約4割の生徒が「思わない」と回答しました。「どんな環境で子育てをしたいか」では「自然が豊かで安全。病院や店などがあり、生活が便利」な環境」などの意見が出ました。高梁市は少子化対策について、どう考えていますか。



若い世代が子育てに夢を持って、次世代を担ってくれる子どもを安心して産み、育てることができ環境づくりが大切だと思っています。これからも高梁に住んでもらえるように、少子化対策をいろいろとしています。18歳まで医療費無料化

川上 知美 議員
平松 奈都美 議員
成羽中

元

雇用促進住宅を地域の人や子どもたちが触れ合うことができる場所にしてほしいと思います。今後、どのように活用するのか教えてください。



雇

雇用促進住宅は、雇用と職業の安定を図るために、働く人の住宅を確保しなければならぬということから、全国に設置されてきました。国は雇用促進住宅は役割を終えたと判断し、早期に廃止する方針を打ち出しました。

市としても、市営住宅として活用できないかなど、購入について検討しましたが、平成21年3月に購入しないという決定をしました。今後は建物を取り壊して、更地にして売却をするという予定があるという予定があるので、民間での活用になると思います。



は、県27市町村のうち高梁市だけです。小中学生の遠距離通学はもちろんです。高校生へのバス通学定期券の2分の1を補助しています。市内で結婚してほしいということ、ハッピーウェディング事業や新婚世帯への家賃補助を行っています。少子化対策は、人によって違うと思います。子育てしたい環境があるかどうか、子どもを産みたくても産めないということもあると思います。そういったさまざまな事情を個々に考えながら、対策を打っていかうと考えています。

高梁市では、生まれてくる子どもの数が一番下のピークよりも少し上がってきました。これは市外に出ていく人の方が多い社会的要因による人口減が少なくなったということに連動していると思います。これからも高梁市に住んでもらえる環境づくりを進め、そのことで少しでも子どもが増えてほしいと思っています。

アンケートで「高梁市に住もうと思わない」という回答は残念ですが、ちゃんと子育てができる環境であることが分かってもらえるように、これからも努力し、もっとたくさんの方に高梁市に住んでもらえるようにしていきます。

山下 隼暉 議員
田中 竜矢 議員
成羽中

旧

成羽高校のグラウンドを家族や友だち、地域との絆を深めることができる場所にしたいと思っています。



成

羽高校の跡地については、高梁市で持っている老人ホームを統合した新しい老人ホームと成羽地域の二つの保育園に幼稚園の機能を合わせた認定こども園を整備していかうと考えています。



校舎については、耐震診断の結果から取り壊し、そこへ新しい施設を考えています。今ある体育館やグラウンドについては、地域の皆さんにそのまま活用していただくことを考えています。家族や友人、地域との絆を深めることができるような場所になるように、市としても努めていきます。